

GALLERY KOYANAGI

PRESS RELEASE

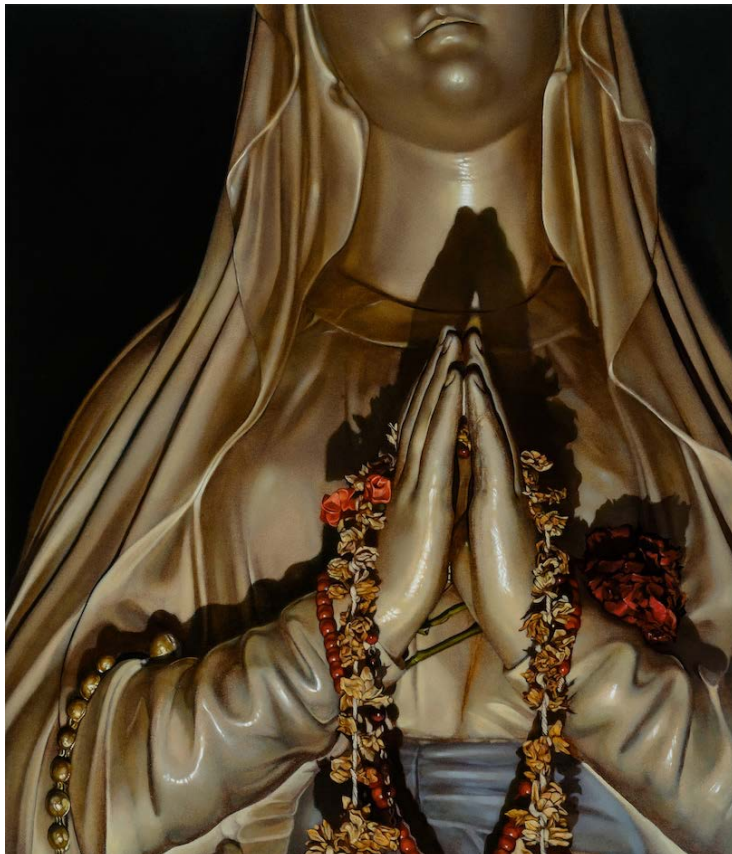
Tranquility 静謐

Hellen van Meene

熊谷 亜莉沙

中澤 安奈

小林 照



KOYANAGI BUILDING 9TH FLOOR, 1-7-5 GINZA CHUO-KU TOKYO JAPAN 104-0061
TELEPHONE 03-3561-1896 TELEFAX 03-3563-3236

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度、ギャラリー小柳では2026年9月26日（土）から10月24日（土）の会期で、グループ展「Tranquility 静謐」を開催いたします。

「Tranquility」をテーマに、4人の作家がそれぞれの視座から表現する静けさの姿に光を当てます。静謐（Tranquility）とは、物事が静かで落ち着き、穏やかに整った状態を意味します。しかし、その感じ方や現れ方は決して一様ではありません。風景や記憶、感情、そして時間の流れと重なり合いながら、内なる感覚の中で多様なかたちを伴って立ち現れます。本展では、作品に表現された静けさのかたちに触れ、そこから広がる豊かな世界を見つめます。少女がもつ強さと脆さが交錯する内面を、独自のセッティングとポージングによって鮮やかに映し出すヘレン・ファン・ミーネの作品をはじめ、熊谷亜莉沙、中澤安奈、小林照の3名による新作を展覧いたします。

オランダ出身のヘレン・ファン・ミーネ（1972-）は、1990年代半ばより、主に少女を被写体とした写真作品を発表してきました。知り合いや、街で声をかけた少女たちをモデルにファン・ミーネ自身が即興で服や髪に独特な変化を加え、ポーズをつけながら虚構の世界を作り上げていきます。ダッチライトと呼ばれる、自国オランダの歴史的絵画の特徴的な光を想起させる繊細な色彩の中で捉えられた彼女たちは、伏し目がちに佇み、その静かな内省のひとつきの中に、成長過程の寄る辺のない不安定さと不完全な美しさを垣間見せます。

熊谷亜莉沙（1991-）は、自身の複雑な生い立ちや境遇と向き合い、そこにある矛盾や葛藤を絵画として表現してきました。個人的な体験を起点に、生と死、愛と憎しみ、豊かさと貧しさといった人間の根源的なテーマへと広がる作品は、美しさと不穏さをあわせ持ち、見る者にさまざまな想像や感情を呼び起こします。新作《she》では、フランスの教会で出会ったマリア像を描いています。人物を描く際、目から下だけを捉える構図を繰り返し用いてきた熊谷は、長い年月にわたり人々の祈りを受け止めてきた「彼女」を、「聖母」という象徴であると同時に、ひとりの人間として描き出します。熊谷はそこに積み重ねられた信仰と営み、そして紡がれ続ける物語そのものを見つめています。

中澤安奈（1988-）は、石や木を素材に、キリスト者としての信仰生活の中で彫刻を制作しています。聖書の言葉や恵みの体験を源泉とするその作品は、目には見えない存在に呼応する人間の普遍的な在り方を見つめるものです。代表的な「衣」シリーズでは、衣の佇まいを通して人の人格そのもの、そして神に出会う人のありようを表現してきました。本展では、同シリーズの新作《Remove the Veils 暁にまみえて》に加え、カーテンをモチーフとした新作《その日、風の吹くころ》を発表します。風や気配を感じさせるカーテンは、神によって現されたものとなお隠されているものの境界を象徴し、その覆いが取り去られたあとにある約束された希望を、作品は静かな余韻とともに湛えています。

GALLERY KOYANAGI

小林照は、『ピクチャー』を巡る歴史を背景に、視覚表現を展開し、「像の起こり」を主題として制作しています。また、御嶽行者（おんたけぎょうじゃ）として、山岳信仰の実践と祭祀や儀礼に携わっています。今回発表する《dpi》シリーズは、印刷やデジタル画像の解像度を示す「dpi (dots per inch)」に着想を得て、1 インチ (2.54cm) に1つのドットが配置される「1dpi」の考え方をもとに、円形の版木による点描を重ねています。制作地で採取し、自製した炭インクを木炭紙に定着させる反復的な行為を通して、現代のオートメーションが担う均一さや速さから、画像を解放する試みです。点に刻まれた人の手による痕跡が、静かに浮かび上がります。

展覧会初日 9 月 26 日 (土) の午後 5 時から 7 時までは、熊谷、中澤、小林が在廊し、レセプションを開催いたします。午後 6 時からは 3 名によるギャラリートークも実施予定です。この機会にぜひご取材いただけますよう、お願い申し上げます。

資料および図版のご依頼は担当者までご連絡ください。

ご掲載の際にはご一報いただけますよう、お願い申し上げます。

ギャラリー小柳

GALLERY KOYANAGI

【広報用図版】

ご使用の際は、次ページのキャプションとクレジットラインを表記いただくようお願いいたします。
下記ご承知おきの上ご使用くださいますようお願いいたします。

- ・図版のトリミング不可
- ・図版への文字載せ不可
- ・図版の二次使用禁止、ご使用後は速やかにデータを破棄してください。



1.



2.



3.



4.

GALLERY KOYANAGI

[キャプション 1]

ヘレン・ファン・ミーネ

Untitled

1999 年

c-print

40 x 40 cm

Hellen van Meene

Untitled

1999

c-print

40 x 40 cm

[クレジット 1]

© Hellen van Meene / Courtesy of Gallery Koyanagi

[キャプション 2]

熊谷亜莉沙

she

2026 年

油彩

70 x 60 cm

Arisa Kumagai

she

2026

oil on panel

70 x 60 cm

[クレジット 2]

© Arisa Kumagai / Courtesy of Gallery Koyanagi

[キャプション 3]

中澤安奈

Remove the Veils 暁にまみえて

2026 年

楠

107 x 52 x 60 cm

Anna Nakazawa

Remove the Veils

2026

Camphor tree

107 x 52 x 60 cm

[クレジット 3]

© Anna Nakazawa

[キャプション 4]

小林照

dpi 05

2026 年

木炭紙、木炭、水

59.4 x 42 cm

Sho Kobayashi

dpi 05

2026

Charcoal and water on charcoal paper

59.4 x 42 cm

[クレジット 4]

© Sho Kobayashi

GALLERY KOYANAGI

【展覧会概要】

展覧会名：Tranquility 静謐

作家名：Hellen van Meene、熊谷亜莉沙、中澤安奈、小林照

会期：2025 年 9 月 26 日（土）－10 月 24 日（土）

〔オープニングレセプション：9 月 26 日（土）17:00－19:00〕

開廊時間：12:00－19:00

休廊日：日／月／祝祭日

会場：ギャラリー小柳

東京都中央区銀座 1-7-5 小柳ビル 9F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

アクセス：

東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅 7 番出口より徒歩 1 分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅 A-9 出口より徒歩 5 分

お問い合わせ：ギャラリー小柳

Tel: 03-3561-1896

Mail: mail@gallerykoyanagi.com

URL: <http://www.gallerykoyanagi.com>

GALLERY KOYANAGI

ヘレン・ファン・ミーネ

1972 オランダ アルクマール生まれ
 1992-96 ヘリット・リートフェルト・アカデミー 写真学科
 1995 エディンバラ・カレッジ・オブ・アート
 現在 オランダ ヘイロー在住

個展

2022 *A Danger Illustrated*, Galerie Fontana Amsterdam
A Danger Illustrated, James Freeman Gallery, London
 2019 *The Bird in Borrowed Feathers*, James Freeman Gallery, London
 2016 Villa Mondrian, Winterswijk, The Netherlands
 2015 *Five*, Yancey Richardson Gallery, New York
 Fotomuseum Den Haag, The Netherlands (survey book)
 2013 OstLicht Galerie, Vienna
The Years Shall Run Like Rabbits, Yancey Richardson Gallery, New York
 2012 *Dogs and Girls*, De Nederlandsche Bank, Amsterdam
Hellen van Meene: Dogs and Girls, Gallery Koyanagi, Tokyo
Panoramas, Yancey Richardson Gallery, New York
 2011 *What Dog do you belong to*, Yancey Richardson Gallery, New York
 Yancey Richardson Gallery, New York
 2010 FO.KU. S Foto Kunst Stadtforum, Innsbruck, Austria
 2009 *Tout va disparaître*, Yancey Richardson Gallery, New York
Pool of Tears, Fukutake House 2009, Echigo-Tsumari Art Triennial 2009, Niigata, Japan
 2008 I M ART, Seoul, South Korea
 2007 Yancey Richardson Gallery, New York
 Fotografins Hus, Sweden
 Folkwang Museum, Essen, Germany
 Focal Point Gallery, United Kingdom
 Yours Gallery, Poland
 The Cultural Forum for Photography, C/O Berlin
 2006 Pump House Gallery, London
 Stills Gallery, Edinburgh, Scotland
 Open Eye Gallery, Liverpool, England
 Focal Point Gallery, Southend-on-Sea, England
A Sense of You, Created by Me, Gallery Koyanagi, Tokyo
Tokyo Girls - A Sense of You, Created by Me, Tokyo Wonder Site, Shibuya, Tokyo
 Huis Marseille, Amsterdam
 Open Eye Gallery, Liverpool, England
 Maison Européenne de la Photographie, Paris
 Frans Hals Museum, The Netherlands
 2003 Gallery Rodolphe Janssen, Brussels
 Le Case d'Arte, Milan
 2002 Inverleith House, Royal Botanic Garden, Edinburgh, Scotland
 Frans Hals Museum, Haarlem, The Netherlands
 Museum of Contemporary Photography, Chicago
 Photo Espana, Madrid
 2001 Marc Foxx Gallery, Los Angeles
 Matthew Marks Gallery, New York
 2000 De Vleeshal, Middelburg, The Netherlands
 Le Case d'Arte, Milano
 Galleria Laura Pecci, Milano
 Galerie Paul Andriesse, Amsterdam
 Marc Foxx Gallery, Los Angeles

GALLERY KOYANAGI

- 1999 Sadie Coles HQ, London
Gallery Koyanagi, Tokyo
Galerie Dijk 1, Alkmaar
The Photographers' Gallery, London
1998 Galerie Paul Andriesse, Amsterdam

熊谷 亜莉沙

- 1991 大阪生まれ
2013 京都造形芸術大学 洋画コース卒業
2015 京都造形芸術大学大学院 総合造形領域修了

個展

- 2025 「天国泥棒」 ギャラリー小柳 (東京)
2023 「神はお許しになられるらしい」 ギャラリー小柳 (東京)
2022 「私はお前に生まれたかった」 ギャラリー小柳 (東京)
2019 「Single bed」 ギャラリー小柳 (東京)
2015 「Leisure Class」 Gallery Art Composition (東京)
2013 「MAMA」 atamatote2-3-3 (東京)

グループ展

- 2026 「MOT コレクション いつかの光を今みている」 東京都現代美術館
「SPECTRUM 2076ーきたる世界の意識体」 GYRE GALLERY (東京)
2025 「ゴミと鉛筆とアート展」 アンノン原宿 (東京)
2024 「ハレの日に」 SCÈNE (東京)
「ONE SINGLE BOOK」 ギャラリー小柳 (東京)
「東 京都 展 The Echoes of East Kyoto」 WHAT CAFE (東京)
「Collection #08」 rin art association (群馬)
「Observation」 YUKIKO MIZUTANI (東京)
2023 「MtK satellite Vol.3」 MtK satellite (愛知)
2022 「Under Current サテライト展」 N&A Art SITE (東京)
「第1回 MIMOCA EYE／ミモカアイ」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (香川)
「Under Current」 Powerlong Museum、上海 (中国)
「young okazaki vol.02」 MtK Contemporary Art (京都)
2021 「GROUP SHOW: 5 ARTISTS」 KOSAKU KANECHIKA (東京)
2020 「シェル美術賞 アーティスト・セレクション 2020」 国立新美術館 (東京)
「Photographs」 ギャラリー小柳 (東京)
2017 「Portrait」 ギャラリー小柳 (東京)
2016 「ULTRA x ANTEROOM exhibition 2016」 ホテルアンテルーム京都
「ARTOTHÈQUE SELECTION 2016」 京都造形芸術大学
2015 「スタジオハイデンバンオープンスタジオ」 スタジオハイデンバン (京都)
「混沌から躍り出る星たち 2015」 スパイラルガーデン (東京)
「京都造形芸術大学大学院修了展」 京都造形芸術大学
2014 「Politics Narcissism」 ARTZONE (京都)
「熊谷亜莉沙 田中裕子 山崎鈴子三人展」 画廊くままつ (東京／京都)
「第23回奨学生美術展」 佐藤美術館 (東京)
「名古屋芸術大学大学院 同時代表現研究 [洋画] × 京都造形芸術大学大学院 PROJECTS 交流展」
名古屋芸術大学 (愛知)
「東京藝術大学大学院 美術研究科 油画専攻 小林正人研究室 × 京都造形芸術大学大学院
PROJECTS 交流展」 PROJECTS room (京都)
「SPURT2014」 京都造形芸術大学
「上野の森美術大賞展」 上野の森美術館 (東京)

GALLERY KOYANAGI

- 2013 「シェル美術賞 2013」国立新美術館（東京）
「HOP2013」京都造形芸術大学 「PARADE」 3F project room
「はじまりの部屋」康耀堂美術館（長野）
「京都造形芸術大学卒業制作展」京都造形芸術大学
- 2012 「弘益国際美術祭」弘益大学校、ソウル（韓国）
「ワスレモノハナデスカ 掌の珠玉」ギャラリーi（京都）
「学科優秀選抜展「めばえ」京都造形芸術大学
「増殖する自己と他者の血脈の響鳴」ARTZONE（京都）

中澤 安奈

- 1988 横浜市生まれ
2008 東京都立芸術高校卒業
2012 東京藝術大学美術学部彫刻科卒業
2014 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専科修了

個展

- 2023 「新しい日を賛美う」NANAWATA café & space（埼玉）
2022 「祈りの淵から」大塚美術（東京）
2016 「未だ見ぬ知へ」ギャラリー志門（東京）

グループ展

- 2026 「ロマネスクと私たち」工芸青花（東京）
2026 「神奈川県美術展 60 周年記念展」鎌倉美術館（神奈川）
2025 「祈りの前に佇み 中澤安奈 カミラ・テイラー 宮永愛子」Kanda & Oliveira（千葉）
2021 「新潮社・青花の会骨董祭」√K Contemporary（東京）
2018 「大分アジア彫刻展」朝倉文夫記念ホール（大分）
2017 「観○光 Art Expo」東本願寺、泉涌寺、浄智寺（京都）
2017 「第 53 回神奈川県美術展」神奈川県民ホールギャラリー
2015 「第 10 回アトリエの末裔、あるいは未来展」東京芸大美術館陳列館

小林 照

仙台市生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン学科を経て、山岳信仰の道に進む。御嶽行者。
「ピクチャー」を巡る歴史を背景に視覚表現を展開。像の起こりを主題とする。